

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E112N018		異文化理解と英語教育 (Comparative Culture)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	2	3	教育学部 令和2年度 以降入学生用			氏名 穴井 孝義 E-mail t-anai@oita-u.ac.jp 内線											
授業の概要	本授業は3部から構成される。第1部では、ウォーミングアップ活動やペアによる英会話練習を展開して英語使用の雰囲気を高める。第2部では、日常生活で実際に使える重要な英語表現や語句を学ぶ。第3部では、実際の英語教育現場から出てきた英語や英語文化圏への様々な疑問に対し、学習者の「知的好奇心」をくすぐるような解説例を紹介していく。また、学生にはグループ単位で「英語疑問リスト」からテーマを選び、「学習者が納得できる解説」を目指して「教える側に立ったプレゼン」を実演してもらう。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	重要な英語表現や語句を十分に習得して実際に使いこなすことができる。																
目標2	英語圏内・圏外の背景にある文化の多様性や異文化間コミュニケーションの実態を理解することができる。																
目標3	英語が使われている国や地域の歴史、社会、文化などについて基本的な背景を理解することができる。																
目標4	英文中に登場する未知語の意味を、その前後の文脈や語形からおおよその確に推測できるようになる。																
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1	授業のオリエンテーション+関係資料の配布																
2	英語なぜ問答																
3	英語なぜ問答 + 英語重要表現小テスト																
4	英語なぜ問答																
5	英語なぜ問答 + 英語重要表現小テスト																
6	英語なぜ問答																
7	グループ発表準備+英語重要表現小テスト																
8	グループ発表(「英語なぜ問答(一般編)」に対する回答)																
9	英語なぜ問答																
10	英語なぜ問答 + 英語重要表現小テスト																
11	英語なぜ問答																
12	英語なぜ問答 + 英語重要表現小テスト																
13	英語なぜ問答																
14	グループ発表準備+英語重要表現小テスト																
15	グループ発表(「英語なぜ問答(文法編)」に対する回答)																
ラ ア ー ク ニ テ ィ ン グ エ ブ	A:知識の定着・確認	* 英語学習者が英語や英語圏に抱く様々な疑問に対する(納得のゆく)説明を2回に分けてグループ発表形式で行ってもらうので、その準備を進めること(評価の対象)。 * 第1週のオリエンテーションの中で「英語なぜ問答リスト」を配					工 夫 そ の 他 の	グループで発表する内容と同一のテーマに沿ってレポートを提出してもらうが、レポートの読者が英語学習者であるという視点で記述すること(グループ毎に1部を提出)。									
時間外学修の内容と時間の目安	準備	* 事前配布プリントの予習をする。(毎回1h)															
	学修	* 英語重要表現の小テストに向けて勉強する。(毎回1h)															
	事後	* 既習の英文や重要な英語表現を理解した後に音読を繰り返して英語独特の発音や読み方(話し方)に慣れていくこと。(毎回0.5h)															
	学修	* グループ発表に向けた原稿作成やレポートの執筆をする。(計15h)															
教科書	読解用プリントを配布する予定																
参考書	各種関連プリントを配布する予定																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	英語重要表現の小テスト	20%															
	グループ発表+レポート提出	30%															
	期末試験(推測力向上を図る応用問題を含む)	50%															
注意事項	* 授業には必ず和英(英和)辞書を持参すること(電子辞書も可)。 * 予習を前提に授業を進めるので、事前に疑問点を整理しておくこと。																
備考	なし																
リンク	なし																
	URL																

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の 実務 経験	公立高校教員、国立高専教員として英語教育に携わった。また、英語諸問題研究会（私設）を立ち上げ、英語や英語圏にまつわる様々な疑問点の解明に努めた。
実務経験を いかした教 育内容	授業では、英語学習者が抱く英語や英語圏に関する様々な疑問点について、学習者の目線に立って話を展開していくと共に、彼らの知的好奇心をかき立てる授業を展開する。